

愛称：日本のリーダーズ

追加型投信／国内／株式

信託期間：2024年6月20日 から 無期限

基準日：2026年2月27日

決算日：毎年6、12月の各19日（休業日の場合翌営業日）

回次コード：5124

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

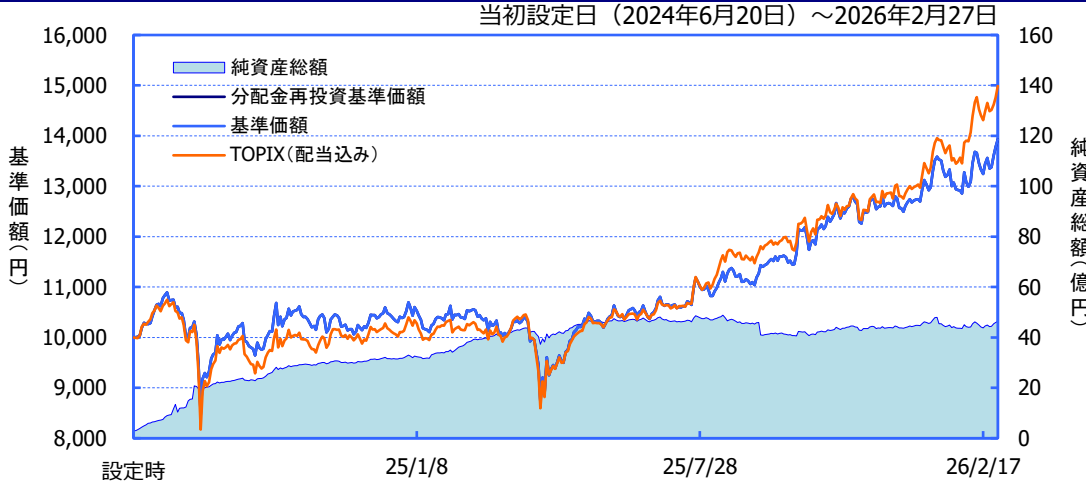
《基準価額・純資産の推移》

2026年2月27日現在

基準価額	13,930 円
純資産総額	46億円

期間別騰落率

期間	ファンド	参考指数
1か月間	+7.9 %	+10.5 %
3か月間	+9.5 %	+16.8 %
6か月間	+25.3 %	+29.5 %
1年間	+37.6 %	+50.5 %
3年間	----	----
5年間	----	----
年初来	+9.7 %	+15.6 %
設定来	+39.3 %	+49.9 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。  
 ※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。  
 ※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。  
 ※TOPIX(東証株価指数、配当込み)は当ファンドのベンチマークではありませんが、参考指数として掲載しています。  
 ※グラフ上のTOPIX(配当込み)は、グラフの起点時の基準価額に基づき指数化しています。  
 ※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

《分配の推移》

(1万口当たり、税引前)

決算期(年/月)	分配金
第1期 (24/12)	0円
第2期 (25/06)	0円
第3期 (25/12)	0円
分配金合計額	設定来: 0円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

《主要な資産の状況》

※比率は、純資産総額に対するものです。

資産別構成

資産	銘柄数	比率
国内株式	32	99.0%
国内株式先物	---	---
不動産投資信託等	---	---
コール・ローン、その他	---	1.0%
合計	32	100.0%

株式 市場・上場別構成

市場	比率
東証プライム市場	99.0%
東証スタンダード市場	---
東証グロース市場	---
地方市場・その他	---

組入上位10銘柄

銘柄名	比率
東京エレクトロン	4.5%
花王	4.4%
三井住友フィナンシャルG	4.3%
日本電気	4.2%
野村総合研究所	4.1%
富士フイルムHLDGS	4.1%
アドバンテスト	4.0%
富士通	3.8%
三菱UFJフィナンシャルG	3.8%
トヨタ自動車	3.7%

株式 業種別構成

東証33業種名	比率
電気機器	24.5%
化学	11.1%
機械	10.5%
銀行業	8.2%
ガラス・土石製品	7.7%
卸売業	7.7%
食料品	5.7%
その他製品	4.8%
情報・通信業	4.1%
その他	14.8%

組入上位10銘柄

東証33業種名	比率
電気機器	4.5%
化学	4.4%
銀行業	4.3%
電気機器	4.2%
情報・通信業	4.1%
化学	4.1%
電気機器	4.0%
電気機器	3.8%
銀行業	3.8%
輸送用機器	3.7%

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメントにより作成されたものです。当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。当ファンドの取得をご希望の場合には投資信託説明書(交付目論見書)を販売会社よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上ご自身でご判断ください。後述の当資料のお取り扱いにおけるご注意をよくお読みください。

設定・運用:

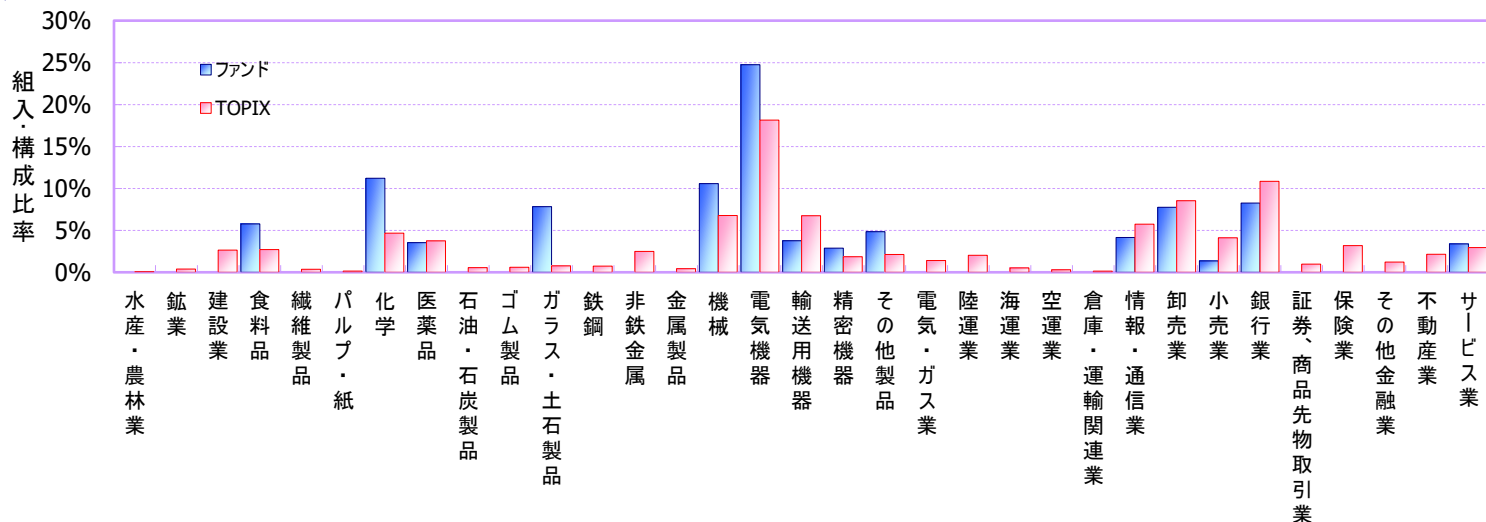
**大和アセットマネジメント**

Daiwa Asset Management

商号等

大和アセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号  
 一般社団法人投資信託協会  
 一般社団法人日本投資顧問業協会  
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

加入協会



《ファンドマネージャーのコメント》

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

＜株式市況＞

国内株は上昇しました。衆議院選挙で与党が300議席超を獲得すると観測報道が好感され、上昇して始まりました。実際、自民党が大勝し、政権基盤の安定を背景に高市首相の政策推進力が高まるとの期待から、月半ばにかけて上昇基調を維持しました。その後、AIが既存企業の業務を奪うとの「AI脅威論」が懸念され、軟調に推移する局面もみられましたが、懸念がやや後退する中、月末にかけては堅調に推移しました。

＜運用経過＞

国内株式市場が上昇したことから、基準価額は上昇しました。  
 業種では、卸売業、電気機器、食料品などがプラスに寄与した一方、サービス業、精密機器、その他製品などがマイナス要因となりました。  
 個別銘柄では、主力の調味料・食品事業が堅調な伸びを示し通期の会社計画を上方修正した味の素、堅調な農業化学品事業に加え、活況なメモリ市況を背景に半導体関連材料が好調だったことが好感された日産化学、AIデータセンター向けのMLCC（積層セラミックコンデンサ）の需要が想定よりも旺盛で、値上げの可能性を示唆した村田製作所などがプラスに寄与しました。  
 一方で、AI脅威論によりソフトウェア企業の警戒感から大きく下落した日本電気、富士通、野村総合研究所や、AIブームを背景としたメモリ価格高騰による業績への懸念から軟調な推移が続いている任天堂などがマイナス要因となりました。

＜今後の運用方針＞

当ファンドは組入れ銘柄の選定に、顧客満足や従業員満足度といった「非財務情報」や特許や知的財産などの「無形資産」に着目しております。引き続き、「日本版ドラッカー研究所スコア」を用いて企業の「非財務情報」や「無形資産」を定量的に評価し、企業として好業績を出せる基盤があるか本質的な分析をすることで、顧客、従業員、地域社会などの企業を取り巻くすべてのステークホルダーから評価される“日本のリーダー企業”に投資を行います。

組入上位銘柄紹介

銘柄名(東証33業種名)	スコア	銘柄紹介	比率
東京エレクトロン (電気機器)		半導体製造装置で世界大手。半導体の製造に必要な装置を開発しており、電子回路を半導体ウェーハ表面に形成する前工程の装置に強み。	4.5%
花王 (化学)		家庭用品の総合企業。トイレタリーでは国内首位。傘下にカネボウ化粧品を有し、化粧品でも大手。工業用製品分野でも存在感。サステナビリティを組み込んだ事業展開に特徴。	4.4%
三井住友フィナンシャルG (銀行業)		傘下に三井住友銀行やSMBC日興証券などをもつ収益力が首位級の3大金融グループの一角。	4.3%
日本電気 (電気機器)		官公庁、企業向けITサービス大手。通信インフラで国内首位。顔認証など生体認証技術に強み。	4.2%
野村総合研究所 (情報・通信業)		システム構築大手。コンサル、開発、運用の一貫体制。金融機関と流通業に対し強みを持つが、サービス業、製造業など広範囲な業種向けに事業を拡大。	4.1%

※スコアは、ドラッカー研究所の提供するデータを基に、大和アセットマネジメントが作成したものです。

※銘柄紹介は、各種資料より、大和アセットマネジメント作成したものです。

※比率は、純資産総額に対するものです。

※個別企業の推奨を目的とするものではありません。

● 顧 : 顧客満足   
 ● 従 : 従業員エンゲージメント・人材開発   
 ● イ : イノベーション   
 ● 社 : 社会的責任   
 ● 財 : 財務力  
— : 当社独自の分析モデルを組み合わせた結果   
— : 標準

組入上位銘柄紹介

銘柄名(東証33業種名)	スコア	銘柄紹介	比率
富士フイルムHLDGS (化学)		写真フィルムで培った技術を活用し、医療機器や医薬品、液晶フィルム、半導体材料、バイオ分野など幅広い事業を展開。医用画像情報処理システムは世界トップシェア。	4.1%
アドバンテスト (電気機器)		半導体検査装置で世界大手。非メモリ用が中心であるが、DRAM用の検査装置でも首位。特にAI開発に不可欠なGPUテストにおいては、独占的なシェアを有している。	4.0%
富士通 (電気機器)		ITサービスで国内首位。官公庁、金融、流通向けに強み。プロダクト中心の事業モデルからソリューションやサービス中心の事業モデルへと変革を進め、現在はDX(デジタル・トランスフォーメーション)関連に注力。	3.8%
三菱UFJフィナンシャルG (銀行業)		傘下に銀行、信託、証券、カードなどをもつ国内最大の民間金融グループ。	3.8%
トヨタ自動車 (輸送用機器)		世界最大級の自動車メーカー。次世代技術に強み。傘下に日野、ダイハツを有し、デンソーなどの世界有数の自動車部品メーカーもグループの一翼を担う。	3.7%

※スコアは、ドラッカー研究所の提供するデータを基に、大和アセットマネジメントが作成したものです。

※銘柄紹介は、各種資料より、大和アセットマネジメント作成したものです。

※比率は、純資産総額に対するものです。

※個別企業の推奨を目的とするものではありません。

● 顧 : 顧客満足   
 ● 従 : 従業員エンゲージメント・人材開発   
 ● イ : イノベーション   
 ● 社 : 社会的責任   
 ● 財 : 財務力  
— : 当社独自の分析モデルを組み合わせた結果   
— : 標準

## 《ファンドの目的・特色》

### ファンドの目的

- ・わが国の株式の中から、企業の無形資産価値の高さに着目してポートフォリオを構築し、信託財産の成長をめざします。

### ファンドの特色

- ・わが国の株式の中から、企業の無形資産価値の高さに着目してポートフォリオを構築します。
- ・運用にあたっては、日本版ドラッカー研究所スコア付与銘柄を対象に、日本版ドラッカー研究所スコアと大和アセットマネジメント独自の分析モデルを組み合わせ、投資銘柄の選定および組入比率の決定を行ないます。
- ・毎年6月19日および12月19日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

ドラッカー研究所は、ドラッカー研究所データおよびファンド計算のためにドラッカー研究所が大和アセットマネジメントに提供するその他のデータの正確性を確保するために商業上合理的な努力をしますが、ドラッカー研究所データの正確性、完全性、有効性、即時性または適時性についての表明または保証を行ないません。ドラッカー研究所データの利用によって個人または法人が得られる結果について、明示的か黙示的かを問わず、ドラッカー研究所はいかなる保証もしません。

ドラッカー研究所は、明示的か黙示的かを問わず、ドラッカー研究所データに関する商品性または特定の目的または利用のための適合性の保証を一切行わず、ここに明示的に否認します。ドラッカー研究所は、その他個人もしくは法人に対して、いかなる市場セクター、資産クラスまたはその他任意の選択基準に基づくパフォーマンスに対するドラッカー研究所データのパフォーマンスの相対的な関係に関して、明示的か黙示的かを問わず、表明または保証を行ないません。

"The Drucker 1996 Literary Works Trust is not a sponsor of, and has not approved, authorized, or reviewed the terms or any other aspect of the DRUCKER INSTITUTE JAPAN EQUITY FUND (CAPITAL GROWTH TYPE), and is not involved in the provision of this product or service."

Drucker 1996 Literary Works Trust は、この投資信託のスポンサーではなく、その条件やその他の側面について承認、認可、検討を行なっていません。また、この投資信託およびそれに関連するサービスの提供にも関与していません。

## 《投資リスク》

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。**基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

株価の変動 (価格変動リスク・信用リスク)	株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。組入銘柄の株価が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。 当ファンドは、一銘柄当たりの組入比率が高くなる場合があり、より多数の銘柄に分散投資した場合に比べて基準価額の変動が大きくなる可能性があります。
その他	解約資金を手当てするため組入証券を売却する際、市場規模や市場動向によっては市場実勢を押下げ、当初期待される価格で売却できないこともあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

### その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受け付けが中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。

## 《ファンドの費用》

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 (上限) <b>3.3%(税抜3.0%)</b>	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	<b>年率1.6225%</b> <b>(税抜1.475%)</b>	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。
配分 (税抜) (注1)	委託会社	年率0.80%
	販売会社	年率0.65%
	受託会社	年率0.025%
その他の費用・ 手数料	(注2)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注1)「運用管理費用の配分」には、別途消費税率を乗じた額がかかります。

(注2)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。

※運用管理費用の信託財産からの支払いは、毎計算期末または信託終了時に行なわれます。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

購入単位	最低単位を 1 円単位または 1 口単位として販売会社が定める単位
購入価額	購入申込受付日の基準価額（1 万口当たり）
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払い下さい。
換金単位	最低単位を 1 口単位として販売会社が定める単位
換金価額	換金申込受付日の基準価額（1 万口当たり）
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して 4 営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後 3 時 30 分まで（販売会社所定の事務手続きが完了したもの） なお、販売会社によっては異なる場合がありますので、くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の換金申込みには制限があります。
購入・換金申込受付 の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止その他やむを得ない事情が発生した場合には、購入、換金の申込みの受け付けを中止すること、すでに受け付けた購入、換金の申込みを取消することがあります。
繰上償還	<ul style="list-style-type: none"> <li>● マザーファンドの信託財産につきドラッカー研究所と締結したドラッカー研究所スコア利用契約が終了した場合には、委託会社は、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了（繰上償還）させます。</li> <li>● 次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、繰上償還できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・受益権の口数が 30 億口を下ることとなった場合</li> <li>・信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき</li> <li>・やむを得ない事情が発生したとき</li> </ul> </li> </ul>
収益分配	年 2 回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。 （注）当ファンドには、「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。なお、お取扱い可能なコースおよびコース名については異なる場合がありますので、販売会社にお問合わせ下さい。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除の適用があります。益金不算入制度の適用はありません。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に NISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。 当ファンドは、NISA の「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。 ※税法が改正された場合等には変更される場合があります。

## ◀ 当資料のお取り扱いにおけるご注意 ▶

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメントにより作成されたものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。
- 同じ銘柄名が複数表示される場合、同一銘柄名であっても市場や通貨等が異なる場合があります。また、銘柄名称が長い場合、名称の一部が表記されない場合があります。
- 分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ

▶ **大和アセットマネジメント** フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00~17:00)

当社ホームページ

▶ <https://www.daiwa-am.co.jp/>

ドラッカー研究所日本株ファンド（資産成長型）（愛称：日本のリーダーズ）

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	○	○	
株式会社山形銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第12号	○			
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第67号	○	○	○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○		○
木村証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第6号	○			
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○			○
西村証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第26号	○			

上記の販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によって、新規のご購入の取扱いを行っていない場合や、お申込み方法・条件等が異なります。くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。